学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	工業技術基礎（実教出版）						
副教材等	自主編成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築デザインをおこなうにあたって必要な技術・表現方法を4つの実習で学びます。工業技術の基礎を身に付けるとともにそれを建築デザインに活用する知識と技能を身に付けます。休むなどして遅れた課題については次回までに担当の先生のもとを訪れ、遅れを取り返すようにしてください。修得には原則、すべての課題の完成と提出を必須とします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
建築デザインに関する基礎的な技術を実習によって体験し、技能を身に付ける・建築デザインの意義や役割を理解し、広い視野と倫理観を養い、思考・判断を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
建築デザインの意義や役割を理解し、広い視野と倫理観を養い、思考・判断を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
各分野における工業技術への興味・関心を高め、建築デザインをとおして工業の発展をはかる意欲的な態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築デザインの各分野に関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境にも配慮し、ものづくりを合理的に計画し、現代社会における工業の意義や役割をもとに実際の仕事を適切に処理する技能を身に付けている。	建築デザイン技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身に付けている。	建築デザインの各分野に関する基礎的な知識と技術を身に付け、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	模型実習	・建築模型の意義 ・カッターの扱い ・建築模型材料の種類とその特徴 ・スチレンボードの扱いと加工 ・部品の切り出しと組み立て	a.建築表現としての模型の意義を理解している。 b.模型製作のための製作技術を習得している。 c.模型製作の技術向上をめざして意欲的に取り組む。	・学習状況の観察	・実習課題の結果	・課題の進捗状況
通年	図面表現実習	・建築図面へのビジュアル表現適応の意義・図面レイアウト	a.図面表現とプレゼンテーションの関係性について理解している。 b.図面を伝える技術を習得している。 c.図面をわかりやすく伝えるためにその技術向上をめざして意欲的に取り組む。	・学習状況の観察	・実習課題の結果	・課題の進捗状況
通年	建築パース実習	・建築パースの着彩とプレゼンテーションの意義 ・手書きパース着彩における道具 ・建築パース表現技術	a.設計した建築物の外観・内観を人に伝える技術を習得している。 b.プレゼンテーションのために必要な建築パースの表現方法について理解している。 c.設計した建築物の完成イメージを人に伝える技術向上をめざして意欲的に取り組む。	・学習状況の観察	・実習課題の結果	・課題の進捗状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度